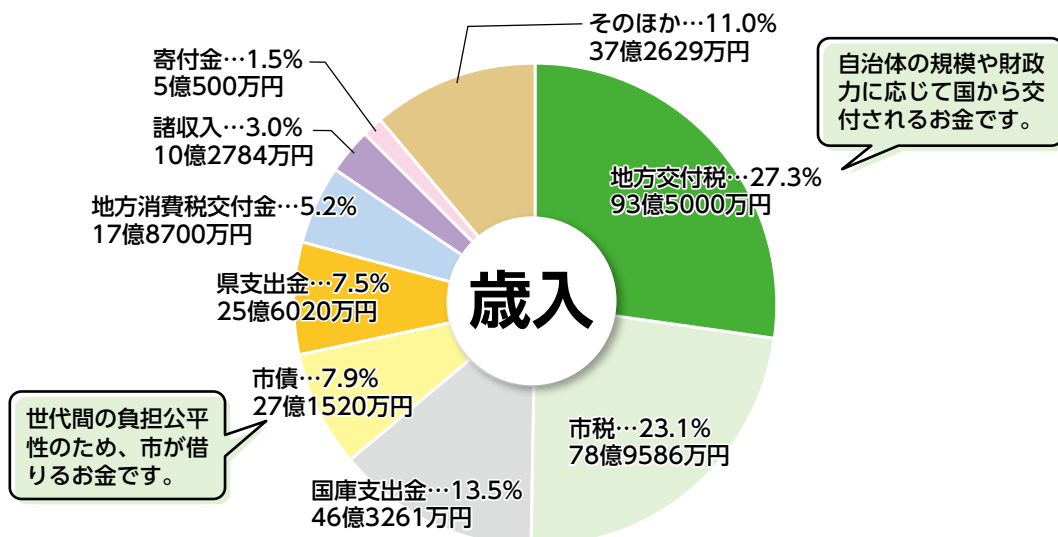
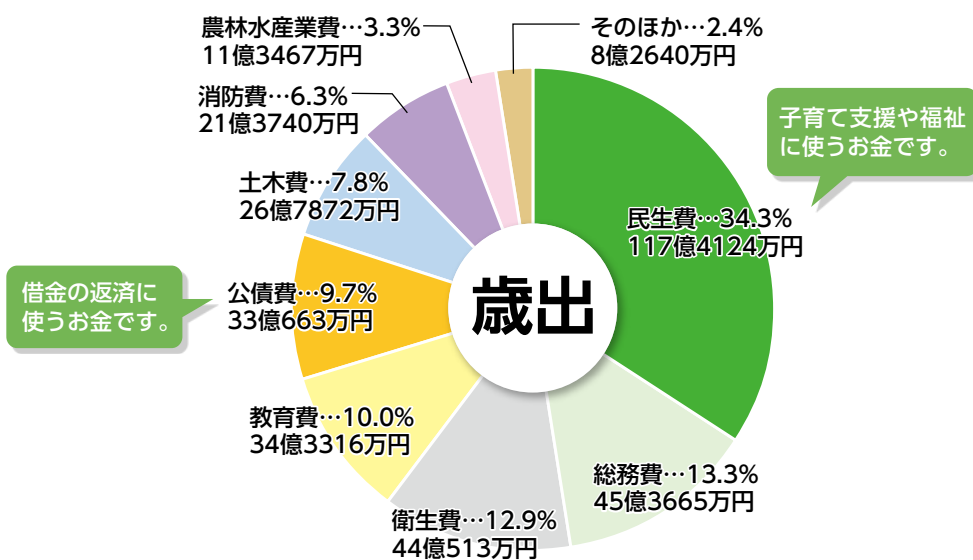


一般会計予算 342億円

前年度比5・3%増



歳入においては、最低賃金引き上げなどの賃金上昇による所得の増加により、市税の増収が期待できるものの、長引く物価上昇や世界情勢などが景気を下押しする可能性があることから、先の見通しは不透明であり、依然として予算を許さない状況。



歳出においては、少子高齢化に伴う社会保障関係費の増加や老朽化が進むインフラ、公共施設等の維持更新にかかる支出が避けられない中、エネルギー価格や人件費の高騰、物価高などによる経常経費の上昇が想定されることから、以前にも増して財政負担が避けられない状況。

各会計別の予算

一般会計	福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計		令和7年度予算	前年度予算	
			342億円	324億8000円	
特別会計	国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業に充てている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計		令和7年度予算	前年度予算	
			193億4500万円	176億6500万円	
	内訳	病院事業債管理		43億8000万円	32億4600万円
		国民健康保険事業	事業勘定	80億1200万円	79億7900万円
			施設勘定	8300万円	8400万円
		後期高齢者医療		8億8300万円	8億6200万円
		介護保険事業		59億8700万円	54億9400万円
企業会計	民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計		令和7年度予算	前年度予算	
			31億9031万1千円	32億9218万3千円	
	内訳	水道事業		21億6165万5千円	21億8134万円
		公共下水道事業		9億584万円	9億6133万9千円
		農業集落排水事業		1億2281万6千円	1億4950万4千円

Pick Up!

令和7年度予算 注目事業

ふるさと応援寄附推進

2億7627万円



返礼品として人気のハマグリ

旭市を応援しようとする個人、団体、企業からの寄付を財源に各種事業を推進し、様々な人の参画により活力あるまちづくりを進める。

旭市20周年記念

新規 1961万円



旭市20周年

これまで歩んできた歴史を振り返りながらお祝いし、さらなる飛躍の契機となるよう記念式典を開催。併せて大相撲旭場所を開催する。

地域医療体制整備

新規 2535万円



市民が安心して子育てができる環境整備の一環として、事業者に補助金を交付することにより、小児科を誘致し、小児科不足の解消を図る。

女性デジタル人材育成推進

新規 363万円



女性を対象に、テレワーク等に必要なデジタルスキルを習得するためのセミナーを実施し、自営型テレワーカーの育成を行う。

海業推進

新規 496万円



海業の中心となる飯岡漁港

飯岡漁港を海業に利活用するため、旭市海業推進地域協議会を設置し、未活用の地域資源の価値や魅力を有効活用した海業を推進する。

事業者デジタル化支援

新規 610万円



事業者のデジタル化への関心を高めるための啓発セミナーや、デジタル化を希望する事業者に、デジタル技術の導入を支援する。

防災対策整備

1939万円



導入予定の気化熱冷風機

避難所へ発電機で稼働できる気化熱式冷風機と移動式エアコンを配備し、停電時の熱中症などへの対策を講じる。

部活動地域クラブ運営

新規 537万円

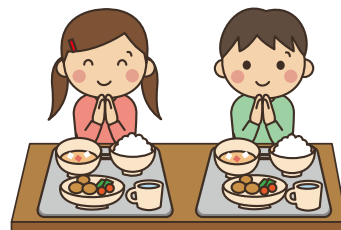


生涯学習課内に地域クラブ運営事務局を設置し、令和8年度の全中学校休日部活動完全地域移行に向けて計画を策定する。

学校給食費の完全無償化

学校給食費の負担軽減額

▲2億3509万円



子育て世帯の負担軽減を図るため、第3子以降の無償化に加え、第1子・第2子の学校給食費を半額免除から全額免除へ拡充する。